

## 令和4年度市民懇談会におけるご意見・ご要望のとりまとめ

市民懇談会において、皆さまから頂きました市政に対するご意見、ご要望について、現在行政で取組を進めている事項を担当課にヒアリングしましたので、以下のとおりご紹介いたします。

項目	ご意見・ご要望	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策	生駒市で初めて感染者が出たとき、公表してほしかった。分かっていたら対策ができたのに。	市内初となる感染者が確認されたことを受け、令和2年3月9日に、市ホームページやツイッターで公表するとともに、報道機関にも情報提供しました。それ以降、当初は保健所ごとの発表であったため、市として詳細な把握は困難であり公表できませんでした。
	市立病院にコロナ対応の空きがあるのに入院させてもらえなかった。空きがあるなら入院をさせてもらいたい。	1日あたりの新規入院患者の受入れ人数の上限が県と各病院との間で決められているため、空きがあっても入院できない場合があります。なお、入院の決定は、県が行います。
	保健所が以前は東生駒にあったが、今は市内にないので不安。郡山保健所は遠いし、対応も遅くなっていたので、やはり以前のように市内に保健所を設置してほしい。	保健所は、地域保健法により、都道府県、政令市、中核市および同法施行令で規程する市に設置が定められています。以前、東生駒に設置されていたのは、地域保健法第12条で規定する支所で、奈良県の管轄となります。
	PCR検査会場を、市内の分かりやすい目立つ場所に設けてほしかった。	感染拡大防止および保健所または診療所からの紹介者のみという限られた方のみでの検査としていたため、目立つ場所に設けることができませんでした。
	陰性と分かるのに数日かかるのは問題。	抗原定量検査では通常2時間程度、PCR検査では4時間程度で結果が出ますが、検査数が多いときなどは翌日以降となる場合があります。
	ワクチン接種の予約など、子にしてもらったが、高齢者にはやりにくい。高齢者は何でもデジタル化になるとやる気をなくす。	ネット、コールセンターでの対応が難しい場合は、返信ハガキを利用していただけるよう配慮しています。
	ワクチン接種後、病気などで半年以上経過してしまっただが、次のワクチンを普通に打って良いのか分からない。	接種から接種までに開けるべき間隔は決められていますが、前回接種後からいつまでに接種するべきかは決まっていません。最終的な判断は、医師の問診などで確認していただくことになります。
	ワクチン接種会場にセイセイビルがとられて、自主学習グループの場所確保に困った。活動機会・場所が減る。ずっと会場を押さえておくのはどうかと思う。使用しない日は、使わせてほしい。	もともと、北コミ、南コミ、セイセイビルの3箇所ですべて同時に接種を行っていましたが、クリニックなどの協力のもと、集団接種を1箇所に集約した経緯があり、ご不便をおかけしています。

項目	ご意見・ご要望	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策	<p>夫婦ともコロナに感染した。妻が発熱で保健所に連絡し、市立病院でPCR検査を受けた。無料と思っていたが、費用がかかった。私は2日後に発熱、のどの痛み、痰で受診。薬代がかかった。発熱して受けたPCR検査は無料ではないのか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症にかかる医療費は、一部の項目を除き公費負担の対象となります。  (陽性判明後であれば発生届の対象外であっても公費負担です)  医療費公費負担の対象とならないもの  ・陽性判明前(診断日当日を含む)の初診料、再診料、院内トリアージ実施料、その他検査料など  ・療養解除(入院勧告の解除もしくは治癒と判断された日)以降の医療費  ・新型コロナウイルス感染症以外の疾患治療に要する医療費  ・保険適用外の医療費</p>
	<p>夫婦ともコロナに感染し、10日間の外出禁止になった。食料は、私が陰性だった2日間に買いだめをし、あとは宅配で凌いだ。自治体によっては、食料を送るところもあると聞いたが生駒市はどうなっているか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染者の情報は保健所が管理しており、ご本人が希望されない限り市への個人に関する情報提供はありません。お身体の状態によって食べられる物など違いますので、本市では買い物代行を行っています。ご本人もしくはご家族から自宅待機者・療養者支援センターに連絡いただければご希望商品を代金立替で購入し、玄関前まで届ける支援を行っています。</p>
	<p>コロナ禍になって高齢者が自宅から出なくなっているの、生駒市の取組で高齢者の健康維持のための運動や、自宅を出てくるような取組をしてほしい。</p>	<p>コロナ禍でも活動量を減らさないために、市オリジナルの家庭でできる体操をYouTubeで配信するとともに、毎月発行している瓦版ほないこかを配布するなど、セルフケアに努めていただくよう啓発しています。  また、自宅を出てくるような取組については、75歳以上の方に配布している元気度チェックによりリスクを判定し、そのリスクに応じた介護予防の教室を案内しています。</p>
	<p>インフルエンザ予防接種費用助成とは。</p>	<p>季節性インフルエンザとの同時流行が懸念される状況のなか、発熱患者などの急増による医療機関の負担軽減と市民の経済負担軽減のため、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成するものです。従来からある助成対象に、生後6か月から小学校6年生までの人、妊婦、要件に該当する障がいのある人にも広げています。</p>
	<p>公共交通事業継続支援金とは。</p>	<p>燃料高騰対策として、公共交通事業者へ燃料費を支援するものです。  また、コロナ禍における生活様式の変化などによる利用者減にともない、経営が厳しくなっている公共交通事業者に対し、財政支援を行うことを令和4年12月定例会で可決しました。</p>
教育・子育て	<p>令和の日本型教育モデル事業ってなに。人間性の形成、協調性はタブレット端末中心の教育では養えないのでは。</p>	<p>令和の日本型教育モデル事業には、個別最適化の学びと協働的な学びがあります。子どもたちの居場所や主体的・対話的に深い学びを行うことに関してタブレットを使うことは、あくまでも1つの手段でありきっかけです。そして、タブレットは文房具の1つという考えです。</p>
	<p>全国的に問題になっているが、欠食児童が22万人、不摂食児童含めると80万人いるという。生駒市ではどうか、実態調査、取組をしてほしい。</p>	<p>残食調査で全体の残食量を把握し、また、2時間以内の喫食を行い少しでも温かい食事を提供できるようにしています。</p>

項目	ご意見・ご要望	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
教育・子育て	子ども医療費について、拡大を。	令和5年4月からの未就学児にかかる医療費の個人負担金の無償化や、子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大することにもなう予算を令和4年12月定例会で可決しました。
道路・開発 環境整備	歩道の整備をしてほしい。車がよく通るのに、白線しか引いていない道路が多い。168号線の東生駒から菜畑はバギーを押している人など大変。	歩道整備については、道路幅員が確保出来るところから進めていきたいと考えています。
	壱分地域の開発により人口が増加すれば、学童施設周辺道路の交通量が増え、児童の危険が考えられる。そういった理由で、学童施設の移動があるかを知りたい。	現状、学童施設の移動は考えていません。
	枯れている街路樹があれば切ってほしい。	年1回秋季（成長の早いものは年2回夏季と秋季）に剪定作業を行うとともに、枯れている街路樹などは、剪定作業と同時に伐採する場合と通報を受け個別に伐採する場合があります。
	有里町の堤防の草刈り業者が毎年変わるが、業者によって仕上がりが綺麗なときと汚いときがある。	河川堤防の草刈りなどの管理業務については、県の郡山土木事務所の管轄となりますが、市の関連部署にも情報共有しています。
	リニア誘致についての情報公開を。	市が知り得た情報は公開しており、広報活動は行っています。
空き家対策	空き家も増えてきている。対策を考えてほしい。	空き家を流通させる仕組み「いこま空き家流通促進プラットフォーム」を民間事業者とともに作っています。
市内交通	奈良交通バスの一部路線の廃止は大きな問題だが、市はどう考えるのか。	<p>現在、事業者と市とで協議中であり、住民アンケートなどで住民の意見をききながら進めることとなります。</p> <p>市としては、コロナ収束後の利用者の回復状況などを見極める必要があることや、国においても赤字が続く公共交通に対する支援策の検討方針が出されていることから、奈良交通株式会社に対して、性急に判断するのではなく時期を見て適切なタイミングで判断していただくよう要請しています。</p> <p>また、12月15日に行われた地域公共交通活性化協議会において、奈良交通株式会社の再編案については、一定期間、維持・継続することとなり、今後は、事業者・行政・市民の三位一体でバスの利用促進に取り組むことにより、市内バス路線の収支均衡を目指し、従来通りのバス運行を将来にわたって持続可能な形で継続していけるよう力を合わせて取り組むこと、また、仮に収支均衡が難しい場合であっても市民の利便性をできる限り確保できる路線の在り方について、市民・利用者を含む関係者で検討を重ねることなどについて了承されており、今後も引き続き取り組んでいくこととなります。</p>

項目	ご意見・ご要望	担当課ヒアリングによる現在の取組状況について
その他行政の取組	市はイベントが多すぎる。ほとんどすべてに市長が挨拶をしている。ポスターが多すぎ、掲示板に貼れないくらい。	全庁的にいろいろなイベントを行っています。すべて市主催ばかりではなく、後援などもあります。
	自然が豊かなので、若い方の中にも農業をしたいなど興味がある方も多いため、そのような方にアドバイスしてあげたい。私たちの代がいなくなったら山になるだけで寂しい。	市では、市民農園や特定農地の貸付事業、いこまファーマーズスクールなどを行っています。農地の利活用には色々な制約がありますが、支援を行っています。

また、以下のご意見、ご要望につきましては、行政にお伝えするとともに、今後の議会活動に活かすべく、全議員に周知いたしました。

項目	ご意見・ご要望
新型コロナウイルス感染症 対策に係る支援策	ワクチン接種のいこま方式は、非常に分かりやすく迅速で良かった。
	ワクチン接種による副反応の方が感染よりも怖い。
	ワクチン接種の優先順位について、仕事のために外出せざるを得ない現役世代から実施すべきであった。
	近くの薬局で検査できたのは良かった。
	検査キットを入手しやすいようにしてほしい。
	市が薬局でも抗原検査ができると広報しているので、コロナの症状があったときに薬局に行ったが検査キットが足りなくて検査ができなかったので、周知するなら現実的に検査できる環境を提供してほしい。
	気軽に検査しやすいよう、コロナの検査キットを配るのはいかがでしょうか。
	無症状の感染者を無くすためにPCR検査・抗原検査キットの費用を予算化し、無償で提供できる体制を構築する。同じ医療費を感染後にかけるのではなく、前に対応する。
	さきめしいこまは、クレジットカード払いだから利用しない。現金主義なので。
	さきめしいこまの意義がよく分からない。高齢者やスマホを持たない人が使えないのは問題。支援は公平性、平等性を常に意識する必要がある。高齢者には伝わりにくい。情報の伝え方の工夫、別の手段も必要。
	さきめしいこまは、電子クーポンだったが、使う人が限られているので紙のクーポン券も取り入れてほしい。
	給食費を2ヶ月分一律に無償化する必要はない。困っている人だけを助けたらいい。
	水道料金の値下げは、公平で良かった。
	買い物代行サービスについて、感染者を市がつかめないのが感染者の方から市に申し込む必要があるとのことだが、食料の確保が一番大事な問題なので、この点の周知が絶対に必要である。
買い物代行サービスについて、そのような支援策があることを知らない人が多い。スマホやパソコンを持っていない、特に高齢者などについては、回覧など紙ベースで案内をしてほしい。	
買い物代行ではなく、物資や冷凍お弁当を送ってくれる市がある。財政に余裕があるのに行わないのはなぜか。	

項目	ご意見・ご要望
新型コロナウイルス感染症 対策に係る支援策	制度があっても活用されなければだめだ。
	感染者の移送手段がタクシー会社にあるが、台数が少ない。市民がいつでも気軽に使えるように周知してほしい。
	感染者への支援が遅かった。自治体によって支援策が違い過ぎる。
	コロナに対しては、自己管理さえしていれば、外出も必要以上に恐れなくてもいいのでは。
	コロナで、市や自治会の行事を中止するのではなく、出来る範囲で実行するのが良い。
	市独自の「緊急警報」の意義がよく分からない。パフォーマンスとしかみえない。また、延長されたときに、自治会に連絡がなかった。
	高齢者でもともと外出をよくする人は、コロナ禍でも散歩したりしているのでフレイルの心配はないが、もともとあまり外出しない人は、コロナで更に引きこもり、フレイルがひどくなっている。
	コロナ関連の情報について、市に問い合わせても「ホームページを見てほしい」と回答されるが、高齢者などインターネットに疎い世代には不親切で情報が入ってこないの、インターネットに疎い高齢者にも同じように情報が入るようにしてほしい。
	今後の感染拡大時に、保健所と市の連絡連携が適切に行えないのではないかと不安。
	コロナに感染した際に、どこに電話するかなどQRコードでスマホにて調べることができるが、高齢者には分かりづらいのではないか。
	感染した際のフォーマットが分かりづらく、簡潔なフローチャートなどにしてほしかった。フォーマットをイラストでしたらどうか。
	教育・子育て
今までやってきた支援については、評価もしているので、引き続きどんどんやってほしい。	
支援策については、市の独自性も出してほしい。	
	幼保無償化も、私立まで無償化する必要はないのでは。
	地域に公立幼稚園がなくなると、ますます過疎化・高齢化する。俵口幼稚園をどうにか残してほしい。
	俵口幼稚園は車送迎ができるようになったので、車が多くなったが、子どもにとっては、小学校に徒歩で通うまでの練習として歩いて通園することも大切では。

項目	ご意見・ご要望
教育・子育て	近くの私立幼稚園の方がサービスが良い。なばた幼稚園も、保育時間を延長するなど保護者のニーズに応えるよう努力してください。
	壱分幼稚園のこども園化（幼稚園＋保育園）を進めないと、将来的に園児数の増加は見込めないかもしれません。全国的に少子化の問題もありますので、長い目で対応をお願いします。地域の人はこども園化に反対していますが、住民・行政の総論で考えて欲しい。
	生駒南小中学校の問題は、きちんと説明会をして話し合い、老朽化と一貫校問題は切り離して考えてください。
	子育てしていくなかで教育費の負担も大きいし、その自治体がどのような支援をしているのかが転入の参考材料になる。(特に明石市の子育て支援はすごい)
	子どもたちの健全な育成のためにも、学童保育の充実や、そのための施設の拡充をお願いしたい。
施設環境	コロナ禍で散歩する人が増えてきており、散歩途中で休憩するためのベンチやトイレがないので、設置してほしい。
	学校の草刈りボランティアに参加しているが、毎年のもので人手が足りないし高齢化している。学校の予算を増やして、いつでも学校が綺麗になるように業者に管理させてほしい。
	トイレの整備について、全てを洋式化するのはどうかと思う。障がい者の中には和式がいい人もいるので、和式も残すべき。
	生涯学習施設などにWi-Fi環境が整備されたのは嬉しいが、福祉センターも整備してほしい。障がい者のなかには端末を駆使して意思疎通をしたりする人がいるので、切実。
道路・開発 環境整備	市内に公的な広い公園がほしい。
	高山地区第2工区の開発を早くしてほしい。
	宅地開発が気になる。緑が豊かなところが良いので、緑を減らさないでほしい。
	以前は高層マンションなどの開発は規制されていたが、今ではどんどん高層マンションが建ってきている。生駒山と矢田丘陵の稜線がキレイに見えていたのに、今では見えなくなってきた。
	東生駒2丁目の車の渋滞はひどい。辻町インターを早期に実現してほしい。
	壱分地域の開発では、一分駅や国道168号の利用者が大幅に増え、大変なことになる。5地域の自治会での説明会では、皆反対だった。
	壱分地域の開発について、今後の開発の監視して適正な開発となるように介入できるときは介入してほしい。
	市全体で桜並木など観光や転入促進につながる街並み景観を考えて植栽をしてほしい。

項目	ご意見・ご要望
市内交通	足腰が弱っている人には、買い物の際の交通手段は切実。コミバスは便利だが、土日も運行してほしい。車社会だが、公共交通は大切。
	コミバスの運行について、市民参加型の懇談会を開催して本当に必要な時間帯やコースを決めてほしい。
	コミバスで時間とコース変更があったが、運行時間に合わせるとゆっくりと買い物ができず、帰るためのコミバスがない。また、市立病院へのコミバスも行きと帰りの時間帯が合わないので、利用がしにくい。
	運転免許の返納で車を運転しない人や若い人でも車を持たない人が増えている状況で、地域公共交通が大事になっている。
	奈良交通バスの一部路線廃止の件、なんとか反対し廃止をやめてほしい。
	奈良交通バスが一部路線廃止になると、若い人はいいが免許返納できない。
	市が奈良交通バスの支援をすれば移住対策にもなる。
	奈良交通バスの一部路線廃止について、奈良交通株式会社から市へ随分前に申入れがあったのに、自治会への報告は最近で寝耳に水である。どうしてこんなに時間がかかったのか。
	奈良交通バスの一部路線廃止について、今後の展望や考えが良く分からず、地域住民から自治会長にクレームや問い合わせが多く、対応に大変困っている。
	奈良交通バスの一部路線廃止について、代替方法の検討を早急に願います。
高齢者支援	いきいきクーポンは使い道がなく仕方がないからオムツ購入に使っているが、一部の業者が得をしているので良くない。もっと地域内のどこでも使えるような、地域全体が潤うような形にすべき。
	いきいきクーポンはよく利用されていて、高齢者が元気で長生きするのに役立っている。他の自治体でやっていることも参考にしたらいい。
	いきいきクーポンは高齢者外出促進事業なのに、家族でも使ってしまうのはおかしい。奈良市のようにバスを100円で乗れるようにして、使ったら100円戻すようなものにしたらどうか。
	RAKU-RAKUはうすが有料化になり、年金だけで生活している人は200円でも大変で行けなくなった。元に戻してほしい。
	市は子育て支援に力を入れているのはよいが、高齢者支援が弱いのではないかと。現役世代を呼び込み、税収を増やそうという魂胆が見える。
	40年間現役で税金を納めてきた者が今高齢者になっているのだから、もっと高齢者のことも考えられたい。
県域水道一体化	県域水道一体化の問題も重要である。4割の自己水を無くすのは子孫に申し訳ない。



項目	ご意見・ご要望
<p>県域水道一体化</p>	<p>市の健全な上下水道の運営を考えると、県域水道一体化はデメリットが多いためやめてほしい。</p>
	<p>県域水道一体化によって上水道のルートが一本化されてしまうと、和歌山県の事故のように災害時に、全ての水が止まる地域が出てしまうことが不安である。</p>
	<p>生駒の水を守ってください。自己水源を失うことがあってはなりません。</p>
	<p>いずれ水道事業が民営化されると、水道代が高くなる可能性や工事対応の時間が制限されて不便になることが心配。</p>
<p>その他行政の取組</p>	<p>魅力ある生駒市をつかってほしい。</p>
	<p>必要なものに予算を使ってほしい。無駄な手紙などは省いてよいのでは。</p>
	<p>市の予算編成前に自治会などで声を聞く機会を設けてほしい。ただ単に予算の都合で事業をなくすだけでなく、市民の声を聞いてほしい。</p>
	<p>住民が監査請求したのを公正にみてもらいたい。委員さんがしっかり調査してもらいたい。</p>
	<p>高齢者に対してだけでなく、正しい情報が伝わっていないことが多い。情報の出し方に工夫が必要である。</p>
	<p>聴覚障がい者のことも考えてほしい。</p>
	<p>インフルエンザ予防接種や地域ボランティア活動に対し、補助をしてほしい。インフルエンザ予防接種は家族が全員打つとなるとお金の負担感が大きい。</p>
	<p>中古物件を購入しリフォームしたが、新築並みに費用がかかった。補助金の拡充を。</p>
<p>ウクライナ避難民に、就労しやすい生駒に来てもらいたい。友好都市の敦賀市もポーランドの孤児の受け入れをしているし、難民の受け入れをすべき。避難民の受け入れには無料翻訳アプリを利用して会話もできるし街も活性化するのではないかな。</p>	

※ 上記以外にも、市議会や議員活動などに対してご意見をいただきましたので、全議員に周知しております。この度は、貴重なご意見をありがとうございました。